



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月13日

上場会社名 株式会社 アイフイスジャパン

上場取引所 東

コード番号 7833 URL <https://www.ifis.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大澤 弘毅

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理グループ ディレクター (氏名) 長島 正光

TEL 03-6824-6440

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	1,773	26.0	251	28.8	252	28.6	164	25.3
2024年12月期第1四半期	1,406	△10.1	195	△28.3	196	△28.1	131	△32.5

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 160百万円 (19.0%) 2024年12月期第1四半期 134百万円 (△31.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	17.03	—
2024年12月期第1四半期	13.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期第1四半期	6,804	5,642	82.9	585.64
2024年12月期	6,866	5,670	82.6	588.52

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 5,642百万円 2024年12月期 5,670百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	19.50	19.50
2025年12月期	—				
2025年12月期(予想)		0.00	—	21.50	21.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,500	26.3	350	△6.1	350	△6.5	231	△6.5	24.07
通期	7,150	22.0	770	13.6	770	13.4	510	20.9	52.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期1Q	10,242,000 株	2024年12月期	10,242,000 株
② 期末自己株式数	2025年12月期1Q	607,305 株	2024年12月期	607,305 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年12月期1Q	9,634,695 株	2024年12月期1Q	9,634,695 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善するなか、社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかに回復しております。

一方で、世界経済では米国の政策動向による影響、欧米における高い金利水準の継続、中国経済における不動産市場の停滞の継続やウクライナ情勢の長期化、国内では金融市場の変動、物価上昇による消費者マインドの下振れや円安傾向が継続しており、依然として不透明な状況が続いております。

また、当社事業と関連性が高い証券市場においては、年初から38,000円台～39,000円台を維持していたものの、米国の相互関税への強い警戒感などから大幅に下落し、2025年3月末では35,000円台となっております。また、投資信託市場における公募投資信託の純資産総額については、前年度まで増加傾向が続いておりましたが、当年度は減少に転じております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の業績は、昨年10月に子会社化した株式会社テンナイン・コミュニケーションの業績を取込んだことなどにより、売上高は1,773百万円（前年同期比26.0%増）、営業利益は251百万円（前年同期比28.8%増）となりました。また、経常利益は252百万円（前年同期比28.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は164百万円（前年同期比25.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。なお、前第4四半期連結会計期間において株式会社テンナイン・コミュニケーションの連結子会社化に伴い経営管理区分の変更を行ったため、新たに「ランゲージソリューション事業」を報告セグメントに追加しております。このため、前第1四半期連結累計期間との比較情報につきましては、変更後の報告セグメントの区分と比較分析したものを開示しております。

<投資情報事業>

機関投資家、証券会社等に対して展開している各種サービスは、連結子会社の株式会社キャピタル・アイにおいて展開する資本市場関係者向けリアルタイムニュース『キャピタルアイ・ニュース』が堅調に推移しております。一方、証券調査レポート作成システムに関する開発案件が増加し、前年同期比で増収となりましたが、今後の更なる案件増加を見据えて体制を強化した結果、利益面では減益となりました。

その結果、売上高は369百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は142百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

生命保険関連の印刷・物流サービスは、顧客の新商品販売に伴う印刷・配送案件の獲得や全体的な価格改定による収益改善を図りました。また、企業年金関連サービスは、DC加入者向けのソリューション開発案件受注により、前年同期比で増収増益となりました。

その結果、売上高は485百万円（前年同期比15.4%増）、営業利益は98百万円（前年同期比96.3%増）となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

投資信託市場の純資産総額は、前連結会計年度末と比べ減少に転じております。また、前年度は追い風となった新NISA制度関連の印刷需要が当年度は反動により減少したため、前年同期比で減収減益となりました。

その結果、売上高は362百万円（前年同期比6.9%減）、営業利益は73百万円（前年同期比9.6%減）となりました。

<ITソリューション事業>

事業会社向けの受託開発を行っているビジネスソリューションの受注は、就業、給与系ソリューション及びGIS（Geographic Information System）が好調に推移し、またVBマイグレーションの駆け込み需要もあり、前年同期比で増収となりました。また、利益面につきましても作業効率を図り増益となりました。

その結果、売上高は208百万円（前年同期比12.0%増）、営業利益は27百万円（前年同期比44.5%増）となりました。

＜ランゲージソリューション事業＞

グローバル企業等に提供している翻訳・通訳サービスは、連結子会社の株式会社アイコスが動画・AI翻訳学習の校閲依頼件数の増加や通訳サービスの受注件数増加により、当年度は堅調に推移しました。また、昨年10月に株式会社テンナイン・コミュニケーションが子会社となり、連結範囲の対象となったため、当第1四半期連結累計期間の当該子会社の業績を取込んだ結果、前年同期比で大幅な増収増益となりました。

その結果、売上高は346百万円（前年同期比687.4%増）、営業利益は18百万円（前年同期比1,713.9%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ62百万円減少し、6,804百万円となりました。

流動資産合計は49百万円減少し、5,559百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が138百万円減少し、受取手形、売掛金及び契約資産が92百万円増加したことによるものであります。

固定資産合計は12百万円減少し、1,245百万円となりました。主な要因は、無形固定資産が13百万円減少し、投資その他の資産が2百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ34百万円減少し、1,161百万円となりました。

流動負債は34百万円減少し、893百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が104百万円減少し、賞与引当金が56百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末とほぼ同額の268百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ27百万円減少し、5,642百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益164百万円の計上による増加と、剰余金の配当187百万円の支払による減少であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月13日公表の2025年12月期通期の連結業績予想に変更はありません。今後、状況の進展や事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,899,154	4,760,330
受取手形、売掛金及び契約資産	635,834	727,922
その他	73,907	70,934
流動資産合計	5,608,895	5,559,186
固定資産		
有形固定資産	152,161	150,755
無形固定資産		
のれん	571,653	549,862
ソフトウェア	154,223	145,782
ソフトウェア仮勘定	24,940	41,777
その他	1,469	1,469
無形固定資産合計	752,288	738,892
投資その他の資産	353,074	355,582
固定資産合計	1,257,524	1,245,231
資産合計	6,866,420	6,804,417
負債の部		
流動負債		
買掛金	241,554	302,607
未払法人税等	207,188	102,242
賞与引当金	18,933	75,430
その他	460,138	412,951
流動負債合計	927,814	893,232
固定負債		
役員退職慰労引当金	183,900	183,900
退職給付に係る負債	33,997	35,558
その他	50,468	49,175
固定負債合計	268,365	268,634
負債合計	1,196,180	1,161,867
純資産の部		
株主資本		
資本金	382,510	382,510
資本剰余金	438,310	438,310
利益剰余金	4,912,923	4,889,213
自己株式	△92,600	△92,600
株主資本合計	5,641,142	5,617,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	172	103
為替換算調整勘定	28,924	25,014
その他の包括利益累計額合計	29,097	25,117
純資産合計	5,670,239	5,642,550
負債純資産合計	6,866,420	6,804,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	1,406,796	1,773,038
売上原価	800,107	1,011,922
売上総利益	606,688	761,115
販売費及び一般管理費	411,120	509,296
営業利益	195,568	251,819
営業外収益		
受取利息	18	1,561
受取配当金	162	181
持分法による投資利益	14	32
為替差益	328	—
確定拠出年金返還金	361	111
その他	22	113
営業外収益合計	907	2,000
営業外費用		
支払利息	—	7
為替差損	—	1,111
その他	1	0
営業外費用合計	1	1,119
経常利益	196,474	252,700
特別損失		
関係会社清算損	—	2,360
特別損失合計	—	2,360
税金等調整前四半期純利益	196,474	250,340
法人税、住民税及び事業税	80,910	95,592
法人税等調整額	△15,498	△9,418
法人税等合計	65,411	86,174
四半期純利益	131,063	164,166
親会社株主に帰属する四半期純利益	131,063	164,166

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）
四半期純利益	131,063	164,166
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50	△68
持分法適用会社に対する持分相当額	3,501	△3,910
その他の包括利益合計	3,552	△3,979
四半期包括利益	134,615	160,187
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	134,615	160,187

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

従来、所得等に対する法人税、住民税及び事業税等(以下、「法人税等」という。)について、法令に従い算定した額を損益に計上することとしておりましたが、所得に対する法人税等について、その発生源となる取引等に応じて、損益、株主資本及び評価・換算差額等に区分して計上することとし、評価・換算差額等に計上された法人税等については、当該法人税等が課される原因となる取引等が損益に計上された時点で、これに対応する税額を損益に計上することといたしました。

なお、課税の対象となった取引等が、損益に加えて、株主資本又は評価・換算差額等に関連しており、かつ、株主資本又は評価・換算差額等に対して課された法人税等の金額を算定することが困難である場合には、当該税額を損益に計上することとしております。

法人税等の計上区分に関する改正については、2022年改正会計基準第20―3項但し書きに定める経過的な取扱いに従っております。

当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	17,808千円	19,995千円
のれんの償却額	8,694	21,791

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	I T ソリ ューション 事業	ランゲー ジソリュー ション事業			
売上高								
ドキュメント	—	365,401	380,524	—	—	745,925	—	745,925
WEBサービス	352,433	—	—	—	—	352,433	—	352,433
受託開発	14,175	55,120	8,850	10,568	—	88,714	—	88,714
翻訳・通訳	—	—	—	—	44,053	44,053	—	44,053
その他	—	—	—	175,669	—	175,669	—	175,669
外部顧客への売上高	366,608	420,521	389,374	186,237	44,053	1,406,796	—	1,406,796
セグメント間の内部 売上高又は振替高	750	1,005	—	14,058	355	16,168	△16,168	—
計	367,358	421,526	389,374	200,295	44,409	1,422,965	△16,168	1,406,796
セグメント利益	146,120	50,105	81,252	19,274	1,044	297,798	△102,229	195,568

(注) 1. セグメント利益の調整額△102,229千円には、セグメント間取引消去△220千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△102,009千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	I T ソリ ューション 事業	ランゲー ジソリュー ション事業			
売上高								
ドキュメント	—	420,006	345,027	—	—	765,033	—	765,033
WEBサービス	337,614	—	—	—	—	337,614	—	337,614
受託開発	32,100	65,473	17,424	47,294	—	162,292	—	162,292
翻訳・通訳	—	—	—	—	248,815	248,815	—	248,815
その他	—	—	—	161,212	98,069	259,281	—	259,281
外部顧客への売上高	369,714	485,480	362,451	208,507	346,884	1,773,038	—	1,773,038
セグメント間の内部 売上高又は振替高	750	9,060	—	18,088	250	28,148	△28,148	—
計	370,464	494,540	362,451	226,595	347,134	1,801,186	△28,148	1,773,038
セグメント利益	142,973	98,362	73,412	27,859	18,953	361,561	△109,741	251,819

(注) 1. セグメント利益の調整額△109,741千円には、セグメント間取引消去△227千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△109,514千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。